

九州
沖縄

衆院比例予定候補決まる

九州沖縄の願い実現へ全力！

日本共産党



田村 貴昭 (現)
災害現場から離島まで。住民目線で政治を動かす (福岡10区重複)

1961年4月生まれ。55歳。北九州大学政治学科卒業。北九州市職労書記を経て、党専従。北九州市議会議員2期。2005年、2009年、2012年の衆議院議員選挙に立候補(九州沖縄比例)。2011年福岡県知事選立候補。2014年総選挙で九州沖縄比例ブロックで初当選。委員会は総務、地方創生特に所属。



赤嶺 政賢 (現)
「辺野古新基地ノー」「戦争法廃止」の先頭に。(沖縄1区重複)

1947年12月、沖縄県那覇市生まれ。69歳。東京教育大学文学部卒業。石垣市の八重山高校と八重山商工高校で教鞭。那覇市議会議員3期。党幹部会委員、沖縄県委員長。2000年の総選挙で、九州沖縄比例ブロックで初当選。2014年総選挙で沖縄1区で当選。委員会は安全保障、予算、沖縄北方特、憲法審査会に所属。



松岡 勝 (新)
被災地熊本の声を国会へ届け、復興へ全力。

1973年1月、熊本市生まれ。43歳。熊本県立熊本商業高校卒業。社団法人福岡医療団理事・千鳥橋病院副事務長。2011年に党熊本北部地区委員長を務め、2013年から党熊本県委員会書記長、党准中央委員。



真島 省三 (現)
大企業の横暴ただし、雇用と業者の営業を守る (福岡9区重複)

1963年1月、長崎県佐世保市生まれ。53歳。九州工業大学中退。福岡県議会議員1期。党八戸遠地区委員長、福岡県委員会副委員長・書記長などを歴任。2014年総選挙で九州沖縄比例ブロックで初当選。委員会は経済産業、科学技術特に所属。

野党共闘の勝利、日本共産党の躍進で、安倍暴走政治にストップを